

本弘寺別院

吹く風がやさしく 賑やかな虫の声に秋の訪れを感じます。

さて、先月、お盆法要が無事に厳修されました。私たちの予想を上回る大勢の皆様にお参りいただきました。私たち自身も当寺でやるのは、初めてでしたので、無事に迎えさせていただき、感慨深いものがありました。

阿弥陀経のお勤め後、住職の法話があり、「皆、幸せを求めているが、求めている方向が逆ですよ」というお話がありました。



今月は、お彼岸を迎えます。
以下の日程で、法要が執り行われますので、皆様の御参詣お待ちしております。
ぜひ、お数珠をご持参ください。

秋彼岸法要



日時 9/23 (秋分の日)
受付 13:00～ 法要 13:30～14:30

恐れ入りますが、駐車場に限りがありますので、
公共交通機関をご利用くださいますようお願い致します。

門徒もの知り帳

お彼岸

という言葉が何を表しているかと言うと、彼の岸=さとの境地を意味しています。さとりだなんて言うともあまり普段の生活には関係ないですけどね。しかし、気付かないだけで誰もが心の奥底で願っていることです。

普段の生活といいましたけど、いつも気苦労が絶えないといえますか、憂いというのでしょうか、そういう日々の心配事から解放されたいという思いが人間の根底にはあるのです。

それは、安心して生きたいということです。誰にでもそういう願いはあるのです。だから、一所懸命働いて生活を安定させたいとか、健康で長生きしたいとか、思いは人それぞれ違いますが、誰もが願っているのです。しかし、思う通りにはいかないものです。

思う通りにならないこの世を**此岸** (こちらの岸) ^{しがん}と言います。そしてそういう日々から解放され、安心して生きられる日々を彼岸というのです。だから誰もが彼岸を願っているといえるのです。仏教はそういうことを教えているのですよ。お墓参りをするにしても法事をつとめるにしても、ただ亡くなった方を偲ぶだけではなく、亡くなった方を通して仏教に出会うということを経験して日本人は昔から大切にしてきたのです。そんなことをひとつ知っておくだけで、もうすぐ迎えるお彼岸も今までとは違って感じられてきませんか。

此岸から彼岸へ渡る道、お浄土へ生まれる道を、「二河白道 (にがびやくどう)」という喩えで説かれています。それを棟方志功が描写した作品を彼岸法要時お飾りします。

こども仏教

ブツダがせんせい

がまん (我慢)

遊びたい気持ちを我慢して宿題をやる、お兄ちゃんお姉ちゃんなんだから我慢しなさいってお母さんに言われて我慢する。
みんなも我慢していることってあるかな。

この我慢という言葉は、もともとは、仏さまの教えの言葉なんだよ。

「自分が一番えらいと思って、ほかの人をばかにしたり、軽くみたりすることを「我慢」といい、悪い意味で使われていたんだよ。

我慢の「我」は、自分のこと。仏さまは、なんでも自分中心に考えるのは、悪いことですよと教えていたんだよ。

みんなも、我慢をした時、気持ちよく我慢できたことってあるかな。しょうがないなって思ったり、本当は我慢なんてしたくないのに・・・って気持ちにならないかな。こう言う気持ちになっている時は、こころが僕が僕が、私が私がと自分のことばかり考えているときだよ。そんなときは、大きく深呼吸して相手や周りのことを考えられるといいね。

我慢とは、現代では耐えるや辛抱するといった良い意味で使いますが、元は「自分に執着し、おごりたかぶり他人を侮る」という悪い意味で使われていた仏教語です。人生において、堪え忍ぶことは大切なことですが、「私こそが」といった「我慢」や、せっかくの人の思いを踏みにじるほどの「やせ我慢」はほどほどにしたいものです。 坊守

温故知新

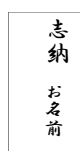
9月は防災月間です。
何十年に一度の大雨や災害などが起きていますが、皆さん、防災対策はしていますでしょうか。
2011年3月11日に発生した東北大地震に関する記事に、「さらしや紐、バスタオルを代用し子どもをおんぶ」という記事を目にしました。抱っこひもの代用として、避難所にあるものを使って、おばあさん達が若いお母さんに子どもをおんぶ・抱っこする方法を教えていたという記事です。
緊急時(地震や火事等)には、今使っている抱っこヒモなどが手元にないこともあります。今回は、お檀家さんから布を使った抱っこの仕方を教わりましたので、ご紹介いたします。

【作り方】
布(さらしなど)の中央部分を緩めにおへそあたりに当て、背中側で交差させ、両端を下から上へ、それぞれの肩に掛けます。前では上から下へ垂らして交差させ、おなかの帯の下に通します。後ろに回して縛れば完成です。

布を使った抱っこの手順 (NPO法人「だっこおんぶの研究所」より引用)
さらしは有能な便利グッズです。紐にもなり、三角巾がわりに、おんぶひもだっこひも、おむつやガーゼがわりなど七変化しますので、防災グッズに一つ入れておくといいかもかもしれません。
さらしは、薬局・ベビー用品売り場・手芸屋さんで購入できます☆

質問コーナー

お寺で法要があるときに、お布施は必要ですか？
という質問をいただきました。
皆さん、疑問に思っているようなので、お答えさせていただきます。
まず、故人の年回忌法要(一周忌など)の場合は、『お布施』と言いますが、お寺で執り行われるお盆やお彼岸の法要の時に納めるのは、お布施ではなく『志納(しのう)』と言います。この志納は、法要の時のお花・お香・おしるし代などに使わせていただくほか、お寺の運営・護持するための浄財として有り難く拝受しております。もちろん、強制ではありません。
もし、お納めされる場合は、お気持ちですので決まりはないのですが、三千元～一万円が多いようです。
封筒は、無地の封筒や水引の封筒などを用います。



年間行事	
1月1日	修正会 ^{しゅうしょうえ}
3月春分の日	彼岸法要
8月15日	お盆法要
9月秋分の日	彼岸法要
11月18日	報恩講
定例法話	
毎月18日 11:00～	お寺
毎月第一日曜 14:00～	霊園

本弘寺別院
秦野市渋沢 1398-12
TEL : 0463-82-9577
✉ honkouji.wakka@gmail.com